

# 福岡県におけるデータ連携基盤共同利用に関するビジョン

福岡県においては、県及び福岡市においてデータ連携基盤の整備を行っている。

以下の状況を勘案し、他の市町村によるデータ連携基盤の活用ニーズが生じた場合には、まずは、福岡県官民データ連携基盤の共同利用を念頭に関係者間の調整を行い、新規構築が適切と判断した場合には所要の対応を行う。加えて、データ連携基盤間の情報連携が適切に行われるよう、対応を検討する。

## 1. データ連携基盤の現況

### ①福岡県

基盤名：「福岡県官民データ連携基盤」

- ・【分野：地域情報】 オープンデータと連携した「ダッシュボード」
- ・【分野：経済】 ふるさと納税のデータを活用した「ふるさと納税可視化・分析」

### ②福岡市

基盤名：「福岡市データ連携基盤」

- ・【分野：行政サービス】 福岡市公式ポータルサイト「ふくおかサポート」
- ・【分野：行政サービス】 「福岡市総合図書館システム」（ふくおかサポート「デジタル図書館貸出カード」と連携）
- ・【分野：行政サービス】 地域ポイント「ふくおかポイント」
- ・【分野：観光】 屋台のLINE公式アカウント「FUKUOKA GUIDE」

## 2. 考慮事項

- ・共同利用する市町村の増加や新たなサービスの導入の際の、基盤の規模やデータフォーマット、可用性等の検討
- ・自治体間の役割分担及び費用負担

## 3. 当面の対応スケジュール想定

今後、前項の考慮事項を精査しながら、随時ビジョンの見直しを行うこととする。